

## 8-1-2 道路会社業務検討WG (NEXCO)

### 1. 道路会社業務検討WGの概要

#### (1) 道路会社業務検討WGの活動目的

高速道路会社との意見交換を実効化、具体化するために設置された。双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

#### (2) WGの構成

WGは東日本・中日本・西日本の各高速道路会社業務検討チームで構成され、各チームは本部委員と支部委員で構成されている。

各高速道路会社との実務者検討会は、協会側メンバーと道路会社側メンバーで構成され、業務に関する具体的課題解決に取り組んでいる。

### 2. 主な活動の記録

過去の意見交換会やアンケート調査から抽出した施工管理、設計、大規模更新・修繕、設計、積算などの課題に取り組んだ。

#### (1) 東日本高速道路会社

3回の実務者検討会とその準備会を開催した。

##### a) 施工管理

契約が準委任契約となった。全支社について平成32年度第1四半期までの見通しが出された。

##### b) 積算

道路設計の歩掛が平成29年7月、構造物は平成30年7月をめざし改定が行われることになり、協会として歩掛調査に協力している。平成29年7月に照査の手引きが出された。(3社共通)

##### c) 大規模更新・修繕

設計施工管理一体型の発注が行われ、今後東ではさらに発注される見通しである。

##### d) 入札

他2社との実績評価点の開差が改善された。

#### (2) 中日本高速道路会社

3回の実務者検討会とその準備会を開催した。

##### a) 入札

プロポーザル方式の積極的な採用について要望した。総合評価の低落札率についての改善

提案を継続して行った。

##### b) 積算

赤黄チェック以外の設計歩掛の改訂について検討中である。

##### c) 大規模更新・修繕

設計施工管理一体型導入を提案した。

##### d) 施工管理

ネクスコ職員と施工管理の業務区分の明確化など共通仕様書の改訂が行われ、平成29年度内に既契約の契約変更が実施された。一部支社で、若手や女性施工管理員の配置を評価する施策が導入され実際に配置された。

#### (3) 西日本高速道路会社

2回の実務者検討会とその準備会を開催した。

##### a) 入札

最低基準価格制度が導入され総合評価における低入札が減少した。プロポーザルの積極的な採用について提案した。

##### b) 設計変更ガイドライン

平成29年7月に改訂された。また、照査の手引きが制定された。(3社共通)

##### c) 設計施工管理一体型

発注されたが評価は次年度以降になる。

##### d) 施工管理

施工管理要領の変更により立会い回数などが減って施工管理員の負担軽減があった。(3社共通) 関西および中国支社において当面の施工管理の見通しが公表された。

### 3. 次年度の活動について

次年度は、設計施工管理一体型の採用拡大、プロポーザル方式の積極的採用、総合評価における低入札対策、表彰制度の活用、要因が不足してきた施工管理制度の改善検討、積算、設計変更ガイドラインの継続的な見直しなどを目標に実務者検討会を実施し、有意義な意見交換会資料を作成して、道路会社とコンサルタント業界がウィンウィンとなるような改善を図っていく。

(道路会社業務検討WG (NEXCO) WG長  
鈴木 卓)